



たよれーる みなみ だより

令和8年度
春号

第2回「暮らしのいどばた会議」

昨年につき『暮らしのいどばた会議』を開催。今回も“お互いを知る”ことを大切にしました。

気になる話題とその理由について話し合うと、多く上がったのは町内会加入率の低下、役員のなり手不足、タクシー不足等でした。

各グループからは「町内会役員はやると意外と負担がない」「1人で背負わず分担するとよい」「時には枠組みを超えて町内会に参加できるとよい」「次回は外国の方を誘いたい」「長い目で見て子供の参加が大切」「今の子は自助・共助を学んでいる」等ヒントとなる意見がたくさん聞かれました。

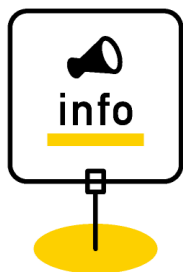
第2層協議体 暮らしのいどばた会議とは

住み続けたいまちづくりのために、自分たちでな
にができるかを話し合う
住民主体のぞっくばらん
な集いの場

まちの課題に向き合うには課題そのものを知るだけでなく、暮らす人の思いや価値観を理解することが欠かせません。

今後もここで生まれたつながりを大切にし、話したことが少しでも形になるよう対話を積み重ねたいと思います。





出前講座をご利用ください!



たよれーる みなみでは、地域の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、さまざまなテーマの出前講座を実施しています。

地域の集まりやサロン、町内会、老人クラブなどでぜひご利用ください。講座は概ね1時間ほどですが、ご要望に応じて短時間のミニ講座も実施しています。時間や内容の調整も可能ですので

『少しの時間で聞きたい』 『体操だけ取り入れたい』

などのご相談もお気軽にどうぞ。詳しい内容は出前講座のお知らせをご覧ください。か、たよれーる みなみへお問い合わせください。

皆さまの地域に伺い、一緒に学び、考える機会となれば幸いです。



- 介護保険の仕組みや在宅サービス
- 認知症の理解
- 介護予防体操
- 見守り活動
- 終活



- たよれーる みなみでは地域の方が要支援認定を受けた原因疾患を集計しています
- 原因の多くは【関節の病気】 【転倒による骨折の後遺症】です
- これらを予防することが元気な暮らしにつながります

下の項目は骨や関節、筋肉など運動器の衰えのサインです

まずは
自分の体の
状態を確認



- ① 片脚立ちで靴下がはけない
- ② 家のなかでつまずいたり滑ったりする
- ③ 階段を上るのに手すりが必要である
- ④ 掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど、やや重い家事が困難である
- ⑤ 2kg（1Lの牛乳パック2個程度）の買い物をして持ち帰るのが困難である
- ⑥ 15分ぐらい続けて歩くことができない
- ⑦ 横断歩道を青信号で渡りきれない

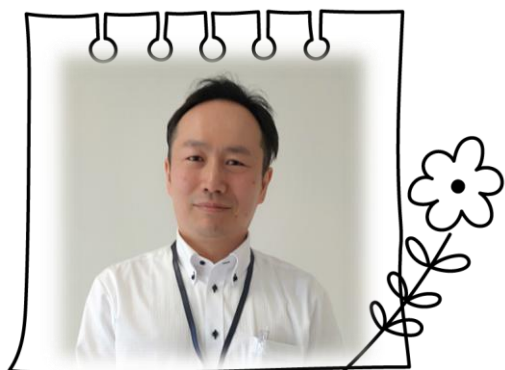
認知症地域支援推進員の 交替のお知らせ

着任のご挨拶

4月より配属されました**佐々木 太一**です。

趣味は家庭菜園でブルーベリーや野菜などを育て、心身ともに癒されております。

認知症になっても暮らしやすいまちづくりに励んでいきますのでよろしくお願いいたします。



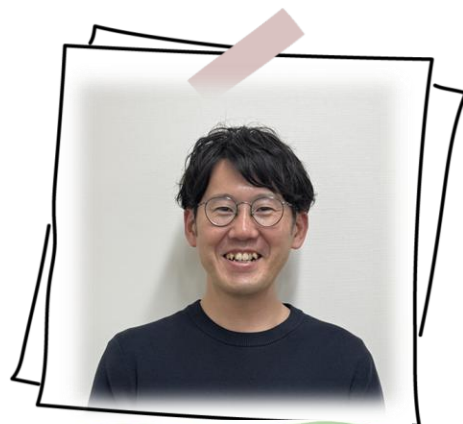
ささき たいち
佐々木 太一

退任のご挨拶

恵望園に異動となる**奥宮 啓**です。

平成29年から様々な所へ伺うたびに快く迎えて下さりありがとうございました。

立場は変わりますが認知症になっても暮らしやすいまちづくりに協力したいと思います。



おくみや けい
奥宮 啓

福士

石渡

吉田

吹田



越

碓井

南

佐々木

担当地区

有明町 大町 文京町
牧場 盤尻 桜森
恵央町 幸町 柏木町
美咲野 桜町 駒場町
白樺町 恵南

恵庭市みなみ地域包括支援センター (たよれーる みなみ)

〒061-1423 恵庭市柏木町429番地6

TEL 0123-34-8467

E-mail minamihoukatu@gmail.com

fax 0123-34-8561